

2 旧計画の進捗等

札幌市では平成7年5月に身体障害、知的障害を対象とした「札幌市障害者福祉計画」を、平成10年6月に「札幌市精神障害者保健福祉計画」を策定し、障害のある人の生活全般を体系化し、各種関係事業の推進を図ってきました。

目 標 「完全参加と平等」

基本理念 ノーマライゼーション、リハビリテーション

施策体系

- 1 福祉サービスの充実
- 2 保健・医療の充実
- 3 教育の充実（※精神障害者保健福祉計画にはなし）
- 4 就労の支援
- 5 生活環境基盤の整備（※精神障害者保健福祉計画にはなし）
- 6 スポーツ・レクリエーションおよび文化活動の振興
- 7 広報・啓発活動の充実

(1) 障害福祉事業費の推移

本市の一般会計に占める、保健福祉局全体の割合はおおむね1/5となっています。

なお、障害福祉担当部としては、一般会計全体のおおよそ3%となっています。

単位：百万円、%

	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
一般会計	796,287	821,101	832,581	848,507	877,796	832,486	846,401
	-	3.1	1.4	1.9	3.5	▲5.1	1.7
保健福祉局	128,248	134,148	142,548	167,673	188,343	169,237	176,378
	(16.1)	(16.3)	(17.1)	(19.8)	(21.5)	(20.3)	(20.8)
	-	4.6	6.2	17.6	12.3	▲10.1	4.2
障害福祉	12,347	13,391	13,979	19,237	20,767	20,712	22,443
	(1.6)	(1.6)	(1.7)	(2.3)	(2.4)	(2.5)	(2.7)
	-	8.5	4.4	37.6	8.0	▲0.3	8.4

注：上段が決算額、中段が一般会計に占める割合、下段が対前年比
資料：局別施策の概要

(2) 事業所管等機構

平成8年4月の精神保健福祉法の大都市特例の施行と平成9年4月の地域保健法の施行を受け、1保健所10保健センター体制にするとともに、精神保健福祉センターを開設。

平成9年11月には、各区役所の保健部門と福祉部門の一元化を図るため、区に保健福祉部を創設しました。

平成10年度から、三障害の保健福祉を一体的に進めるため、民生局、衛生局を統合し、保健福祉局を創設（障害保健福祉部創設）。

平成13年度から、障害者施策と高齢者施策の類似性などに着目し、効率的・効果的に事業を進めるため、障害保健福祉部と高齢保健福祉部を統合し、保健福祉部を創設しました。

(3) 旧計画の進捗

障害者福祉計画関係

進捗状況における「□」表記は（例：□ホームヘルプサービス事業）、計画書において具体的事業名を掲載していたもの。

「▲」表記は、事業の廃止または未実施など。

体系	主要施策及び事業	進捗状況（6年度末⇒13年度末）
1 福祉サービスの充実	(1) 地域支援システムの確立 ○リハビリテーション体制の整備 ▷区保健・福祉部門の整備 ▷リハビリテーションセンター機能の充実 ▷自立支援プログラムの作成 ▷専門的人材の確保 ▷デイサービスセンターの整備	区保健・福祉部門の一元化 （仮称）札幌市地域リハビリテーションセンター 建設調査内部検討委員会報告 障害者ケアマネジメント体制整備推進事業 身体障害者更生相談所に理学療法士3人配置 身体障害者デイサービス事業 2か所⇒10か所（うち公立1か所）
	○知的障害者の生活支援の推進	地域生活支援センター 1⇒2か所 グループホーム 16⇒53か所 生活寮 11⇒6か所 通勤寮 2⇒4か所
	○地域ネットワークシステムの推進	知的障害者福祉センター基本計画策定 地区福祉のまち推進センター 0⇒85か所
	○相談体制の充実	
	○相談窓口の充実	区保健・福祉部門の一元化【再掲】 障害者あんしん相談運営事業
	○各種相談員の機能強化	身体障害者相談員 50⇒88人 身体障害者就職相談員1人、身体障害者結婚相談員1人、盲人相談員1人、ろうあ者相談員各区1人 知的障害者相談員各区 各区1⇒各区2人

体系	主要施策及び事業	進捗状況（6年度末⇒13年度末）
1 福祉サービスの充実	<p>(3) 在宅生活支援事業の拡充 ○ヘルプサービス事業等の拡充</p> <p>○デイサービス事業等の推進</p> <p>○奉仕員の養成・派遣の充実</p>	<p>□ホームヘルプサービス事業 「1週6日、1日2回、1週あたり延24時間上限」 ⇒「1週あたり延28時間」 派遣対象世帯数 295⇒888世帯 ヘルパー数 239⇒1,870人</p> <p>□ガイドヘルパー派遣事業 →重度視覚、全身性「週1回、1回4時間」 ⇒「月60時間」 派遣数 3,392⇒9,983件 ヘルパー数 57⇒146人 →知的障害 13年度開始、派遣数364 →盲ろう者 14年度開始</p> <p>□全身性重度障害者介護料助成事業 全部介助： 月48時間⇒月120時間 一部介助： 月30時間⇒75時間 対象： 39人⇒67人 平成13年度自己負担金制度導入</p> <p>□重度身体障害者入浴サービス事業 月2回（7～9月は月3回）⇒4回</p> <p>□在宅心身障害者（児）紙おむつ支給事業</p> <p>□身体障害者寝具無料乾燥事業</p> <p>□ショートステイ事業 実施施設 23⇒69施設 内訳：重心関係施設 7⇒9施設 知的障害児施設 2⇒12施設 知的障害者施設 12⇒38施設 身体障害者施設 2⇒10施設 平成10年度利用登録証制度 平成13年度日帰制度追加 件数274 ⇒ 5,951件 (延2,755日) (延18,200日)</p> <p>□デイサービス事業 身体障害（公立1含む）2⇒10か所 知的障害 0⇒0か所 障害児 1⇒2か所 重心 0⇒A型1か所 B型2か所 ※A型：1日15人標準、B型：1日5人標準</p> <p>□養成事業（手話通訳・要約筆記等） 346⇒410人 12年度手話中級講座開設</p> <p>□派遣事業 手話通訳 2,950⇒3,947件 要約筆記 356⇒827件</p>

体系	主要施策及び事業	進捗状況（6年度末⇒13年度末）
1 福祉サービスの充実	○福祉機器の交付・展示	□補装具給付事業 11,935 ⇒ 21,384 件 (うち児童 1,546) (1,914)
	○緊急時の連絡体制の確保	□日常生活用具給付等事業 2,213 ⇒ 1,411 件 歩行支援用具などを新規追加
	○日常生活訓練等の充実	□身体障害者福祉電話設置事業 78 ⇒ 累積 112 件
		□聴覚障害者用ファクス等給付事業 148 ⇒ 109 件
		□中途失明者社会適応訓練事業 日常生活動作訓練 延 41 ⇒ 54 件 白杖歩行訓練 延 285 ⇒ 208 件
		□音声機能障害発声訓練 実施 39 ⇒ 45 回 延 1,143 ⇒ 1,076 人
		□オストメイト社会適応訓練事業 実施 10 ⇒ 12 回 274 ⇒ 270 人
		□ことばの教室開催事業 実施 12 ⇒ 11 回 延 407 ⇒ 394 人
	○社会参加の促進	□心身障害者交通費助成事業 タクシー券 年 48 ⇒ 60 枚 ▲12年6月定期券とウイズユーカードの併給禁止 ウイズユーカード月 14,000 ⇒ 10,000 円
	○社会生活教室の実施	□身体障害者自動車運転訓練事業 □身体障害者自動車改造費補助事業 □盲導犬無償貸与事業 □手話通訳者派遣事業【再掲】 □ガイドヘルパー派遣事業【再掲】 □要約筆記奉仕員派遣事業【再掲】 □福祉バスの運行事業 □盲婦人家庭生活訓練 □盲青年等社会生活教室 □ろうあ者社会生活教室
○知的障害者の社会活動の推進	▲レクリエーション教室 ▲サークル活動支援事業 ▲ピアカウンセラー養成事業 ▲知的障害者地域生活プログラム事業	
○知的障害者のための法律相談の推進	知的障害者福祉センター基本計画策定【再掲】 □障害者あんしん相談運営事業【再掲】 権利擁護事業：地域福祉権利擁護事業	

体系	主要施策及び事業	進捗状況（6年度末⇒13年度末）
1 福祉サービスの充実	(4) 施設整備の促進 <input type="checkbox"/> 身体障害者福祉センターの機能充実 <input type="checkbox"/> 視聴覚障害者の情報提供の推進 <input type="checkbox"/> 施設の整備および運営の充実 <input type="checkbox"/> 知的障害者福祉センターの整備 <input type="checkbox"/> 施設機能の地域開放推進	利用数 72,929 ⇒ 82,822 人 <input type="checkbox"/> (仮称) 札幌市視聴覚障害者情報文化センター整備検討 ※別表（施設数の推移：173ページ）参照 <input type="checkbox"/> 知的障害者福祉センター基本計画策定【再掲】 <input type="checkbox"/> ショートステイ事業【再掲】 <input type="checkbox"/> デイサービス事業【再掲】 <input type="checkbox"/> 障害児（者）地域療育等支援施設事業 〇⇒2か所 ▲知的障害者生活訓練事業（ショートステイに統合） <input type="checkbox"/> 特別障害者手当 26,230円（1,018人）⇒26,860円（1,258人） <input type="checkbox"/> 障害児福祉手当 14,270円（1,328人）⇒14,610円（1,382人） <input type="checkbox"/> 特別児童扶養手当 1級 50,350円 2級 33,530円 2,503人 ⇒51,550円 ⇒34,330円 ⇒3,212人 <input type="checkbox"/> 障害基礎年金 1級 981,900円 2級 785,500円 ⇒1,005,300円 ⇒804,200円 <input type="checkbox"/> 心身障害者扶養共済 加入者 1,551 ⇒ 1,950人
	(5) 生活安定のための支援 <input type="checkbox"/> 手当・年金等の充実 <input type="checkbox"/> 生活の安定と向上のための資金貸付	<input type="checkbox"/> 身体障害者自立更生促進資金 <input type="checkbox"/> 心身障害者住宅整備資金貸付 <input type="checkbox"/> 生活福祉資金貸付
2 保健・医療の充実	(1) 先天的障害の予防 <input type="checkbox"/> 新生児、乳幼児、妊婦に対するマス・スクリーニングの充実 <input type="checkbox"/> 母体に関する保健指導事業の実施 <input type="checkbox"/> 母親教室や両親教室の充実	<input type="checkbox"/> 妊婦甲状腺機能検査 9,331件 <input type="checkbox"/> 先天性代謝異常等検査 17,455件 <input type="checkbox"/> 神経芽細胞種スクリーニング検査 13,498件 <input type="checkbox"/> 胆道閉鎖症スクリーニング検査 11,265件 <input type="checkbox"/> 遺伝相談、 <input type="checkbox"/> 母性健康相談、女性の健康相談 <input type="checkbox"/> 妊産婦健康相談 <input type="checkbox"/> 母親教室、両親（父親）教室、ワーキング・マタニティ・スクール <input type="checkbox"/> 思春期ヘルスケア事業
	(2) 後天的障害の予防 <input type="checkbox"/> 周産期センターの整備 <input type="checkbox"/> 健康づくり・成人病予防事業の推進	市立札幌病院：北海道周産期医療システムにおける道央圏の総合周産期母子医療センター 健康教育 1,462回 訪問栄養指導事業 492件

体系	主要施策及び事業	進捗状況（6年度末⇒13年度末）
2 保健・医療の充実	○予防接種事業の充実	予防接種の実施延 133,393 件 高齢者インフルエンザ予防接種事業 78,126 件
	○身体障害者健康診査事業の推進	□身体障害者健康診査事業 車いす使用者二次障害予防 18 人
	○子育て支援の推進	地域子育てサロン、地域子育て支援センター等
	○交通事故防止の啓発の推進	交通安全計画による普及・啓発等
	(3) 早期発見と早期治療の充実	
	○妊産婦健康相談の実施	□妊産婦健康相談【再掲】
	○4か月児・1歳6か月児、3歳児健康診査の実施	□4か月児健康診査 15,145 件 □1歳6か月児健康診査 13,322 件 □3歳児健康診査 13,626 件
	○乳幼児精神発達相談の実施	□乳幼児精神発達相談延 1,187 人
	○1歳6か月児・3歳児精神発達精密検診および事後指導の充実	□1歳6か月児検診 2 件 □3歳検診 6 件
	○養育医療の給付	早期の医学的診断等の実施 発達医療センター 延 10,444 件
	○すこやか健診の実施	□養育医療給付 312 件 □すこやか健診 112,676 人
	○骨粗しょう症検診の実施	□骨粗しょう症検診 1,147 人 健康相談 3,002 回 女性のフレッシュ健診 1,205 人
	(4) 療育体制の整備	
	○相談療育機関の連携	札幌市地域療育推進協議会 重症心身障害児（者）支援機関連絡協議会 障害児福祉施設等連絡協議会 障害児療育保育実践交流の集い 相談療育機関連絡調整会議 さっぽろ・サポート会議 平成8年度、10年度に実施
	○在宅重症心身障害児者実態調査の実施	
	○乳幼児発達心理検査の実施	検査実施 2,976 件（肢体不自由 174 件、視聴覚障害 26、言語発達障害等 988 件、重症心身障害 130、知的障害 1,390 件、自閉症 268 件）
	○先天性障害乳幼児療育事業の実施	□先天性障害乳幼児療育事業 32 人
○心身障害児短期療育事業の実施	□心身障害児短期療育事業（ショートステイに統合） 早期療育の実施（発達医療センター） 289 人 看護師による相談業務の実施 延 12,458 件 18 人	
○早期の言語治療の実施	発達医療センター 訓練延 1,834 件	
○外来保育の充実	発達医療センターで実施	
○障害児通園（デイサービス）事業の実施	□デイサービス事業【再掲】 障害児 1⇒2か所	

体系	主要施策及び事業	進捗状況（6年度末⇒13年度末）
2 保健・医療の充実	○発達遅滞・障害乳幼児（親）の通所指導の充実	□発達遅滞・障害乳幼児（親）の通所指導 週1回 282件 月1回（10区保健センター）334件
	○在宅重症心身障害児者訪問指導・療育の充実 ○疾患別・障害別母子入院の実施 ○結核児童養育医療の給付 （5）リハビリテーション体制の充実 ○専門的な診断、訓練カウンセリングの実施 ○機能訓練の充実 ○保健センターリハビリ教室の充実 ○訪問リハビリテーションの推進	□在宅重症心身障害児者訪問指導・療育 訪問件数22件 ▲平成10年度から休止。需要減。 □結核児童療育給付 0件 （仮称）札幌市地域リハビリテーションセンター建設調査内部検討委員会報告【再掲】 □機能訓練 延14,449人 □平成9年度B型機能訓練に移行 平成13年度すこやかクラブ（介護予防事業）に統合 □訪問生活動作指導事業 延775人 小児期のリハビリテーションの実施 発達医療センター 訓練延6,827件
	（6）障害者医療の充実 ○障害者（児）歯科診療事業への支援 ○更生医療・育成医療の給付 ○老人保健法による医療の実施 ○重度心身障害者医療費助成事業の推進 ○小児慢性特性疾患医療給付の推進 ○難病患者への支援	□札幌歯科医師会口腔医療センター実施への支援 延4,485人⇒4,477人 □更生医療給付 814件 □育成医療給付 1,118件 □老人保健法による医療の実施 □重度心身障害者医療費助成事業 助成件数797,865件 □小児慢性特性疾患治療研究事業 14,683件 特定疾患治療研究事業 30,829件 難病患者等地域支援対策推進事業（13年度から事業開始） 面接相談、訪問相談 難病患者等居宅生活支援事業（13年度から事業開始） ホームヘルプサービス、短期入所、日常生活用具給付 障害児の耳鼻科、眼科、歯科診療の実施 発達医療センター 延504件、227人
	（7）地域ケア体制の整備 ○訪問指導の充実 ○訪問看護の推進 ○在宅ねたきり高齢者訪問歯科事業の充実	□訪問指導の実施 □訪問看護の実施 □在宅ねたきり高齢者訪問歯科事業

体系	主要施策及び事業	進捗状況（6年度末⇒13年度末）
2 保健・医療の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅重度身体障害者訪問診査の実施 ○脳卒中情報システムの整備 	<ul style="list-style-type: none"> □身体障害者訪問指導・診査事業 □脳卒中情報システムの整備
3 教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> (1) 就学前教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○障害幼児教育の充実 ○障害児保育の充実 (2) 学校教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○豊成養護学校の中学部及び高等部の施設整備 ○適切な進路指導の推進 ○交流教育の推進 ○ボランティア教育の充実 (3) 社会教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○児童会館運営事業の充実 ○野外教育の充実 ○「生涯学習推進構想」の策定と「生涯学習総合センター」等の施設整備 	<ul style="list-style-type: none"> □札幌市幼稚園における定員の1割程度の受入 □障害児保育巡回指導 85カ所162人 □基本調査 障害児体験学習促進事業 事業所等見学事業 学校研究委託 6校 総合的な学習の時間等 児童クラブ受入 55人 自然体験活動障害児参加モデル事業 7年札幌市生涯学習推進構想策定 12年札幌市生涯学習総合センターちえりあ開設
4 就労の支援	<ul style="list-style-type: none"> (1) 雇用環境の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ○障害者雇用の促進 ○就職援護措置および雇用助成措置の充実 ○札幌公共職業安定所「みどりのコーナー」の強化 ○福祉協力企業の拡充 ○就職予後指導事業の促進 ○札幌福祉作業所への支援 ○知的障害者の就労支援ネットワークの確立 (2) 福祉的就労への支援 <ul style="list-style-type: none"> ○授産施設・小規模授産事業の充実 ○福祉工場への助成 ○福祉施設常設販売所への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 求職情報誌配布 国に対して要望 あっせん型障害者雇用支援事業 体制強化を要望 拡充について広報・啓発等 □就職予後指導事業補助 運営費補助金（身体障害者「シュリーの店」） 運営資金貸付 札幌市職業安定所を中心とした雇用等関係機関連絡調整会議の実施 □小規模授産施設 53⇒77カ所 特別指導費加算の新設 □身体障害者福祉工場 □知的障害者福祉工場 □ライラックバセオ福祉コーナー
5 生活環境基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> (1) まちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ○やさしいまちづくりの推進 ○福祉のまちづくり環境整備条例の制定 	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄エレベーター等の整備 23 / 47 ⇒ 36.5 / 49 駅 10年 福祉のまちづくり条例 12年 福祉のまちづくり推進指針 福祉のまちづくり推進会議 歩道施工ガイドラインによる整備

体系	主要施策及び事業	進捗状況（6年度末⇒13年度末）
5 生活環境基盤の整備	<input type="checkbox"/> 人にやさしい交通環境の形成 <input type="checkbox"/> 放置自転車規制区域の設定 <input type="checkbox"/> 民間施設整備に対する支援措置の導入 <input type="checkbox"/> 札幌駅北口広場の総合整備 <input type="checkbox"/> 地下鉄主要駅へのファクスの設置 <input type="checkbox"/> 次駅表示器の導入および車内放送の自動化推進 <input type="checkbox"/> 低床式バスの導入 <input type="checkbox"/> リフト付きバスの導入 (2) 住宅環境の整備 <input type="checkbox"/> 車いす利用者向け市営住宅の整備 <input type="checkbox"/> 高齢者向け市営住宅の整備推進 <input type="checkbox"/> 市営住宅への優遇入居の推進 <input type="checkbox"/> バリアフリー住宅の普及・啓発の推進 <input type="checkbox"/> 自立生活と継続入居の支援 <input type="checkbox"/> 住宅整備資金の貸付 <input type="checkbox"/> 身体障害者等世帯の除雪サービスの実施 <input type="checkbox"/> グループホームの拡充 <input type="checkbox"/> 身体障害者福祉ホームの整備 (3) 防災対策の充実 <input type="checkbox"/> 火災予防の推進 <input type="checkbox"/> 緊急通報システム事業の推進 <input type="checkbox"/> 聴覚障害者用ファクシミリの設置 <input type="checkbox"/> 発信地表示システムの導入	交通バリアフリー基本構想検討 7年 札幌市自転車等の放置の防止に関する条例 ▲未導入 10年度完了 ▲休止 。携帯電話メールの普及等による需要減 <input type="checkbox"/> 次駅表示器 27 / 68 編成(平成14年度) <input type="checkbox"/> 自動放送 22 / 68 編成(平成14年度) 補助台数(14年度末見込) 14台 市営交通ノンステップバス 9 / 374台 身体障害者福祉センター福祉バス運行事業 <input type="checkbox"/> 車いす単身・世帯用住宅供給戸数 189戸 <input type="checkbox"/> バリアフリー仕様として整備 <input type="checkbox"/> 市営住宅抽選時に優遇 長寿社会に対応したバリアフリー住宅の普及・啓発の推進 高齢・障害者向住まい住宅づくり相談(一般住宅相談とあわせて) <input type="checkbox"/> 心身障害者住宅整備資金貸付【再掲】 除雪ボランティア事業 福祉除雪の試行実施 <input type="checkbox"/> 知的障害者地域生活援助事業(グループホーム) 16⇒53か所 <input type="checkbox"/> 身体障害者福祉ホーム 0⇒1か所 <input type="checkbox"/> 各家庭への防火査察の実施 災害弱者対応防災マニュアル作成、配布 <input type="checkbox"/> 緊急通報システム事業 <input type="checkbox"/> 聴覚障害者用ファクス等給付事業【再掲】 <input type="checkbox"/> 発信地表示システム導入
	6 スポーツ・レクリエーション及び文化活動の振興	(1) スポーツ・レクリエーションの振興 <input type="checkbox"/> スポーツ活動への支援 <input type="checkbox"/> スポーツ指導員の養成 <input type="checkbox"/> 障害者スポーツセンターの整備 <input type="checkbox"/> 障害者スポーツ振興組織の設立 <input type="checkbox"/> 障害者スポーツ大会の開催

体系	主要施策及び事業	進捗状況（6年度末⇒13年度末）
6 スポーツ・レクリエーション及び文化活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○各種全国大会等への選手派遣 ○各種スポーツ大会への障害者の参加 ○福祉レクリエーションワーカーの養成 ○レクリエーション活動の振興・（2）文化活動の振興 ○点字図書、録音図書および拡大写本の製作貸し出し ○フィルムライブラリーの貸し出し、閲覧 ○文化活動への支援 ○芸術祭、展覧会等の開催促進 ○文化施設の整備改善 	<ul style="list-style-type: none"> □各種全国大会派遣への支援 □各種スポーツ大会への支援 ▲未実施 □身体障害者福祉センター各種事業 点字図書等製作、貸し出し フィルムライブラリー貸し出し、閲覧の実施 盲人文化祭等活動支援 ▲未実施。他市民と同様の取扱いを図る 9年 札幌コンサートホールキタラ
7 広報・啓発活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> （1）広報・情報提供活動の推進 ○福祉ガイド等による情報の提供 ○新しい広報媒体の活用 ○情報提供体制の整備 ○社会福祉総合センターの機能充実 ○全国点字図書館通信ネットワークへの加入 （2）啓発活動の推進 ○啓発行事の実施 ○施設の地域開放の推進 ○広報誌等による啓発活動の推進 ○福祉教育の推進 ○社会教育の充実 ○ボランティア研修事業の実施 ○地域福祉振興基金によるボランティア活動助成 ○用語の検討 ○市職員を対象とした啓発・研修活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> □福祉ガイド等の作成、配布 ホームページ開設等 □（仮称）札幌市視聴覚障害者情報文化センター整備検討【再掲】 □社会福祉総合センター福祉用具展示等の充実 □全国点字図書館通信ネットワーク加入 「障害者の日」記念事業（12月9日）の開催 地域交流スペースの整備等 □広報誌等による啓発の推進 小学校高学年を対象とした副読本「みんなのしあわせ」の作成、活用 心の輪を広げる体験作文 障害者の日ポスターの募集 ボランティア研修センター開設 さっぽろ市民カレッジボランティア講座 9講座 85人受講 □地域福祉振興基金・ボランティア活動助成 精神薄弱⇒知的障害 新規採用職員研修ほか 視力障害者福祉センター点字研修

精神障害者保健福祉計画関係

体系	主要施策及び事業	進捗状況（9年度末⇒13年度末）
1 福祉サービスの充実	(1) 地域支援システムの確立 ○区保健福祉部及び精神保健福祉センターの機能の充実 ○保健・医療・福祉に係る関係機関・団体の連携体制の強化	区保健・福祉部門の一元化 精神保健福祉センター機能の充実 基本計画策定、基本設計・実施設計 各区地域精神保健福祉連絡協議会の整備 1（中央）⇒2区（中央・西） 障害者ケアマネジメント体制整備推進事業
	(2) 相談体制の充実 ○相談窓口の充実	区保健・福祉部門の一元化【再掲】 精神保健福祉センター機能の充実【再掲】 相談件数 3,355 ⇒ 3,722 件 各区保健センター 精神保健福祉相談員 11 人 相談件数 5,871 ⇒ 8,589 件
	(3) 地域生活の支援及び施設整備の推進 ○援護寮及び地域生活支援センターの整備	精神障害者ホームヘルプサービス事業 試行事業の実施（12～13年度） 14年度本格実施 □精神障害者生活訓練施設（援護寮） 0⇒2か所 □地域生活支援センター 0⇒1か所
	○社会復帰学級の充実	□ショートステイ □社会復帰学級 新規 198 人、継続 3,180 人 ⇒新規 145 人、継続 2,868 人 422 回実施
	○精神保健福祉センターの整備	□精神保健福祉センター機能の充実【再掲】 基本計画策定、基本設計・実施設計
	○交通費の助成	□交通費助成 1・2級 ウイズユーカード 年額2万⇒4万円 3級 ウイズユーカード 年額1万⇒2万円 14年度から1・2級について福祉乗車証とタクシー券の選択制。3級年額 33,000 円 作業所交通費助成 26,991 人日⇒45,889 人日
	○社会復帰施設の設置の促進	□社会復帰施設 精神障害者生活訓練施設（援護寮）【再掲】 0⇒2か所 通所授産施設 1か所 小規模通所授産施設 0⇒2か所 精神障害者福祉ホーム 1か所
	○グループホーム・共同住居などの整備	□グループホーム 1⇒9か所 □共同住居 20⇒23か所
	(4) 生活の安定のために ○年金・手当等の充実	障害年金受給者（アンケート） 40.7 ⇒ 57.3% 心身障害者扶養共済制度

体系	主要施策及び事業	進捗状況（9年度末⇒13年度末）
2 保健・医療の充実	<p>(1) 精神保健の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児期・学童期の精神保健の充実 ○思春期の精神保健の充実 ○成人期の精神保健の充実 ○老年期の精神保健の充実 ○研修事業の充実 ○精神保健福祉センターにおける精神科デイケア事業の実施及び調査・研究等の機能充実 ○災害対応時等の検討 <p>(2) 精神科医療の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通院医療費公費負担制度の普及啓発活動の推進 ○身体合併症患者への対応の充実 ○精神科救急医療システムの検討 	<p>区保健福祉部、児童福祉総合センターとの連携</p> <p>思春期相談事業 青年グループケア調査研究事業 青年支援グループ調査研究事業（13年9月～） 市立札幌病院静療院老人性痴呆疾患センターとの連携 精神保健福祉センターにおける研修実施</p> <p>実施回数 5⇒14回 参加人員 延 197⇒522人</p> <p>青年グループケア調査研究事業【再掲】 実施日数 延 136⇒139日 利用者数 延 1,350⇒684人</p> <p>青年支援グループ調査研究事業【再掲】 延 33人7回実施</p> <p>災害時医療救護活動検討会議の実施</p> <p>□通院医療費公費負担制度 申請者数 7,229⇒13,549人 承認件数 8,553⇒13,539人 承認者数（累計） 17,122⇒22,019人 合併症専門病棟 なし 精神病棟を有する総合病院で対応</p> <p>□北海道精神科救急医療システム整備事業（11年3月～） 移送制度実施（13年度～） 5件</p>
3 就労の支援	<p>(1) 雇用環境の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職業リハビリテーションの調査・研究 ○就職援護措置及び雇用助成措置の充実 ○関係機関との連携 <p>(2) 福祉的就労等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授産施設の機能の充実及び新規施設整備の調査・研究 ○小規模共同作業所への支援 	<p>青年グループケア調査研究事業【再掲】 実施日数 延 136⇒139日 利用者数 延 1,350⇒684人</p> <p>国に対して要望 あっせん型障害者雇用支援事業 札幌市こぶし館を提携施設に位置付け 医療機関と連携した精神障害者ジョブガイダンス事業 地域雇用支援ネットワークによる精神障害者職業自立支援事業 北海道障害者職業センター等との連携</p> <p>□精神障害者通所授産施設 札幌市こぶし館 □小規模共同作業所 特別指導費加算の新設 24⇒33か所</p>

体系	主要施策及び事業	進捗状況（9年度末⇒13年度末）
3 就労の支援	○社会適応訓練（職親）事業の積極推進	□社会適応訓練（職親）事業 登録事業所 32 ⇒ 36 か所 対象者 15 ⇒ 12 人 訓練日数 延 1,265 ⇒ 1,214 日
4 スポーツ・レクリエーション及び文化活動の振興	<p>(1) スポーツ・レクリエーションの振興</p> <p>○社会復帰学級事業の充実</p> <p>○スポーツ・レクリエーション活動の推進</p> <p>(2) 文化活動の振興</p> <p>○社会復帰学級事業の充実</p> <p>○文化活動の促進</p>	<p>□社会復帰学級【再掲】 新規 198 人、継続 3,180 人 ⇒新規 145 人、継続 2,868 人 422 回実施</p> <p>札幌市精神障害者家族連合会実施大会への支援 共同住居入居者交流会への支援 精神障害者保健福祉手帳に対する公共施設の利用減免 手帳所持者 2,473 ⇒ 4,739 人</p> <p>□社会復帰学級【再掲】 新規 198 人、継続 3,180 人 ⇒新規 145 人、継続 2,868 人 422 回実施</p>
5 広報・啓発活動の充実	<p>(1) 広報・情報提供活動の推進</p> <p>○福祉ガイド等による情報の提供</p> <p>○情報提供体制の整備</p> <p>(2) 啓発活動の推進</p> <p>○普及啓発活動の推進</p> <p>○地域交流事業の支援</p> <p>○ボランティアの育成</p> <p>○関係団体の育成</p>	<p>□福祉ガイドの作成、配布 こころの健康だより、精神保健福祉マップ等 ホームページ開設等</p> <p>地域生活支援センター【再掲】 0 ⇒ 1 か所</p> <p>精神衛生談話会 各種講演会への精神保健福祉センター講師派遣 参加者延 5,077 人、57 回実施 ⇒延 4,518 人、55 回実施</p> <p>さっぽろこころの健康まつり やさしい精神保健講座 支援の実施</p>

●施設数の推移

施設種別	平成7年3月31日		平成10年3月31日		平成14年5月1日		差引増減		
	箇所	定員	箇所	定員	箇所	定員	箇所	定員	
身体障害	肢体不自由者更生施設	—	—	—	—	—	—	—	
	重度身体障害者更生援護施設	2	110	2	110	2	110	0	0
	うち通所事業実施	1	30	1	30	1	30	0	0
	視覚障害者更生施設	—	—	—	—	—	—	—	—
	身体障害者療護施設	2	140	3	186	7	266	5	126
	身体障害者授産施設	1	50	1	50	1	30	0	▲20
	うち通所事業実施	1	40	1	43	0	0	▲1	▲40
	身体障害者通所授産施設	1	30	1	30	3	110	2	80
	重度身体障害者授産施設	—	—	—	—	—	—	—	—
	うち通所事業実施	—	—	—	—	—	—	—	—
	身体障害者福祉工場	1	25	1	20	1	20	0	▲5
	福祉ホーム	—	—	—	—	—	—	—	—
	身体障害者デイサービスセンター	1	—	4	—	10	—	9	—
	知的障害	知的障害者更生施設（入所）	13	662	14	734	16	816	3
知的障害者更生施設（通所）		6	293	6	305	7	350	▲1	57
知的障害者授産施設（入所）		—	—	—	—	—	—	—	—
知的障害者授産施設（通所）		3	105	4	145	9	305	6	200
分場施設		—	—	1	19	11	140	11	140
知的障害者通勤寮		2	60	3	80	4	100	2	40
知的障害者福祉工場		1	30	1	30	1	30	0	0
障害児童	知的障害児施設	3	255	3	255	3	255	0	0
	（第1種自閉症児施設）	1	32	1	32	1	32	0	0
	（第2種自閉症児施設）	—	—	—	—	—	—	—	—
	知的障害児通園施設	3	100	4	140	4	167	1	67
	ろうあ児施設	—	—	—	—	—	—	—	—
	肢体不自由児施設	1	140	1	140	1	140	0	0
	肢体不自由児通園施設	3	110	3	110	3	100	0	0
	肢体不自由児療護施設	—	—	—	—	—	—	—	—
重症心身障害児施設	2	282	2	282	2	320	0	38	
精神障害	生活訓練施設	—	—	—	—	2	40	2	40
	福祉ホーム	1	14	1	14	1	14	0	0
	授産施設	—	—	1	30	1	30	1	30
	小規模通所授産施設	—	—	—	—	2	38	2	38